関東信越厚生局第12回地域包括ケア応援セミナー 埼玉県市町村・地域包括支援センター・市町村社協 管理職等合同研修

地域包括ケアシステムのこれまでとこれから

- ■2019年6月3日
- ■埼玉県市町村・地域包括支援センター・

市町村社共管理職等合同研修

- ■埼玉県立大学
- ■田中滋

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

目次

- 主題: 社会的包摂からの疎外に対して
- 歴史的展開(繰り返し)から学ぶ
 - ▶ 未充足ニーズの発見
 - > 政策対応
 - ▶ 新たなニーズの発生
- ■時代の流れ
 - ▶ 19世紀後半→20世紀末
 - ▶ 2000年→2015年
 - ▶ 2015年→2025年
 - ▶ 2025年→2040年

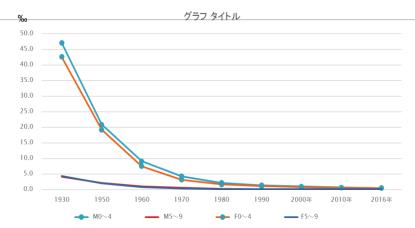
06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

前史:19世紀後半から20世紀前半

- 経済的先進国では...
 - > 栄養水準向上
 - > 公衆衛生体制発達:生活環境·感染症予防
 - ▶ 近代医学誕生→病院医療
 - ▶ 普遍的社会保障制度(アメリカ合衆国を除く)
- ■まずは子供と若者の死亡率低下

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

乳幼児死亡率の推移 1930-2016



元データ出所:国立社会保障・人口問題研究所 人口統計資料集(2018)

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

歴史的展開から学ぶ

① ~1961年: 未充足医療ニーズ

② 政策対応: 皆保険制度発足 + 給付率増(特に老人医療)

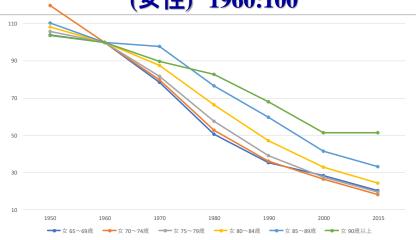
③ ~1983年: 医療需要顕在化 + サービス提供量増

④ 高齢者の死亡率低下

- ▶ 人類史上初の長寿一般化(経済的先進国)
- > 元気高齢者増·高齢者世帯増
- > 健康寿命後の高齢者も増加

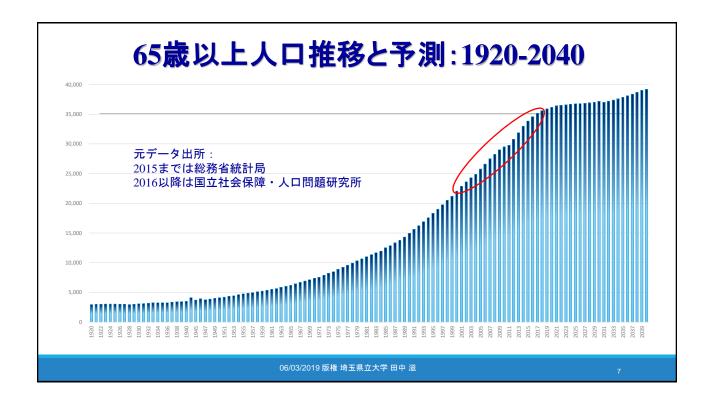
06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

高齢者死亡率の急速な低下 (女性) 1960:100



元データ出所:国立社会保障・人口問題研究所

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋



歴史的展開から学ぶ

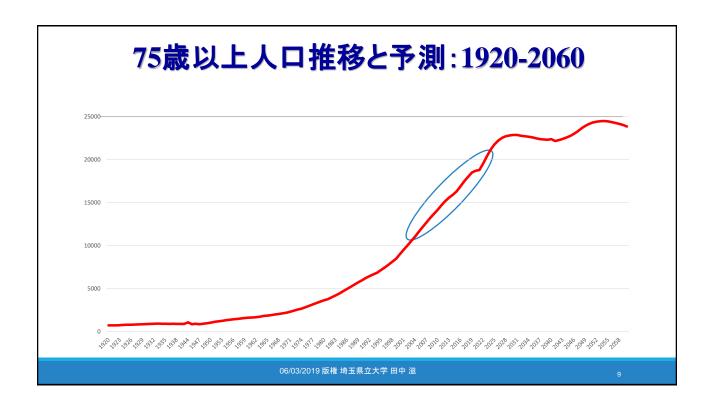
⑤ 新たな社会的ニーズの発生:要介護者

⑥ ~2000年: 未充足介護ニーズ

⑦ 政策対応:介護提供体制整備+介護保険制度創設

⑧ ~2008年:介護需要顕在化 + サービス提供量増

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋



歴史的展開から学ぶ

- ⑨ 新たな社会的ニーズ:サービスの統合
- ① 政策概念の模索と深化: 地域包括ケアシステム+ 共生社会
- ① ~2025年:地域包括ケアシステム構築・深化

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

地域包括ケアシステム深化

- 看取り(グリーフケアを含む)
- ■中重度要介護者
- 軽度要介護者・要支援者
- 虚弱高齢者・元気高齢者
- ■子供・障がい者・その家族など適切な支援があれば活躍できる人々
- 複合的福祉ニーズを持つ人々: 孤立・虐待・ネグレクト・ セルフネグレクト・貧困・自死希求...
- ■まちづくり

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

- 1

歴史的展開から学ぶ

- ② 新たな社会的ニーズ:背景要因
 - ▶ 超高齢者急増
 - ▶ 死亡者数継続的増加→ピーク
 - > 生産年齢人口著減
- ① 上記に対処しつつも、何より重要な社会 政策目標は少子化脱却策

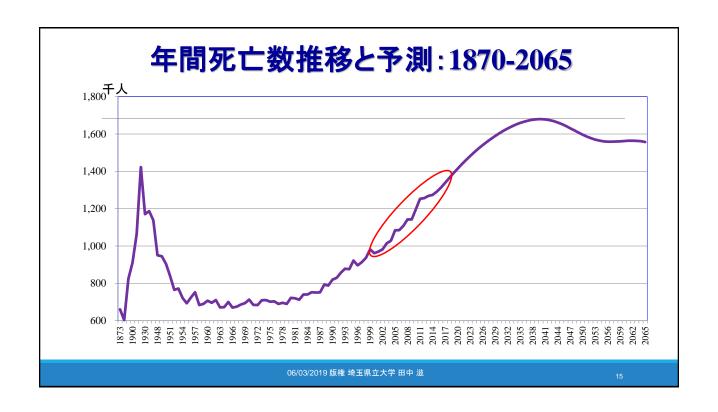
06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋



2040年に向けて増大する 「生活支援」ニーズ

- ■生活支援ニーズ急増
 - ▶ 地域資源を活用した市町村事業
 - ▶ 地元ビジネス
 - ▶ 地元住民・在勤者・通学者による活動
- ■死亡者数の継続的増加
 - > 非急性期型の処遇

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋





高齢者を平均像で語れない時代

- ■介護保険創設時の要介護者の多く
 - ▶「思いがけず長生きした高齢者」
- 2040年の高齢者
 - ▶ 介護予防を知り、人生100年時代に対する準備期間
- 高齢者の体力・運動能力向上、年代別認知症発症率低下
- IoT、ICT、SNS等の活用力

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

17

個人と家族の変化(1)

- ■平均的な高齢者像では語れない多様性と格差
 - ▶ 心身状態のリスク、閉じこもり、社会資本、経済的要因
- 高齢期の所得格差: 若年層よりも拡大→健康格差
- 高齢者に占めるひとり暮らし2割以上
 - ▶ 男性の生涯未婚率3割、8050問題
- 同居率は家族力の指標か?
 - ▶ 同居でも複合課題、一方で近居率増加、ICT、SNS等活用

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

個人と家族、地域社会の変化(2)

- 世帯単位ではなく、個人を単位とした社会保障制度の検討
 - ▶ すでに単独世帯1/3、標準世帯1/4
- 地域づくりも多様な資源の組み合わせで対応
 - >「地域経営型」自治

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

19

対応策の根幹:地域包括ケアシステム 中重度者:プロフェッショナル同士の多職種協働

- 改善予測・悪化予測を判定するアセスメント
- 課題解決型→目標志向ケアプランと予後予測の共有
 - ▶ 医療サービス
 - ▶ ケア環境としての住まい
 - ▶ 生活支援と地域リハビリテーション
- 利用者の自己肯定感向上
- 看取りに至るプロセス

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

参加と協働のための「場づくり」と 「コーディネーション機能」

- ■「参加と協働」には、学びの「場」が必要
- ■コーディネーション機能を持つ人や組織
- ➤ ファシリテーションが鍵
- ▶ すでに地域支援事業には
 - 生活支援体制整備事業:生活支援コーディネーター
 - 在宅医療・介護連携推進事業:在宅医療・介護連携相談コーディネーター
 - 認知症総合支援事業: 認知症地域支援推進員

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

2

参加・協働による地域デザイン(1)

- 多元的・多様な社会
- ×全国標準サービス
- 地域包括ケアシステム
 - ▶ 地域の実情にあった個別の設計が前提、きわめて分権的な仕組み
- ■共生地域デザイン
 - ▶「地域ごとに住民が望む地域の姿を描き、そのための仕組みづくりやサービスづくりに参加し協働して地域づくりを進める」

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

行政・保険者の役割の再定義

- かつて:3大業務などの保険者機能
- ■これから:制度運用機能 + 地域デザイン機能
 - ▶ 保険マネジメント: 予防を重視
 - ▶ 地域デザイン: 予防(参加・協働・貢献)を重視
- 保険給付と介護報酬
- ▶ 個別給付•地域支援事業給付
- 出来高·包括報酬(地域密着型)·地域包括報酬

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋

2

共生社会に向けたシステム構築参加者の役割 演劇に例えると...

- 主役:住民 cf.住民とは?
- 医療介護福祉専門職:不可欠の脇役
- 行政: 演出/デザイナー
- 研究者:黒子
- 首長: 覚悟を決めたプロデューサー

06/03/2019 版権 埼玉県立大学 田中 滋